

山形県金融経済概況

1. 全体感

山形県の景気は、一部に弱さがみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している。

最終需要の動向をみると、公共投資は横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は前年を下回る動きとなっている。個人消費は緩やかに回復している。住宅投資は下げ止まりつつある。この間、生産は持ち直しの動きが足踏みしている。雇用・所得環境は持ち直している。消費者物価（生鮮食品を除く総合）は前年を上回っている。

2. 需要項目別の動向

（1）公共投資 ・・・ 横ばい圏内の動きとなっている

4月の公共工事請負金額は、前年を下回った。国の発注が増加したものの、県や市町村などの発注が減少した。

（図表1）公共工事請負金額 前年比、%

	2022年 6月	9月	12月	2023年 2月	3月	4月
山形県	10.8	▲37.8	69.5	89.9	▲21.8	▲28.4

（資料）東日本建設業保証（株）

（注）pは速報値、rは前回公表から掲載計数を改訂したもの（以下同じ）。

（2）設備投資 ・・・ 前年を下回る動きとなっている

3月短観における2023年度の設備投資計画をみると、製造業は減少計画、非製造業は増加計画に転じ、全体では前年を下回る計画となっている。

この間、3月の建築着工床面積（民間非居住用）は、製造業などが減少したため、前年を下回った。

（図表2）県内企業の設備投資額（2023年3月山形短観） 前年度比、%

山形県	2021年度(実績)	2022年度(計画)	2023年度(計画)
全産業	62.4	▲17.7< 6.5>	▲11.6
製造業	7.2	98.7< 7.9>	▲25.6
非製造業	101.7	▲61.6< 4.0>	15.6

（資料）日本銀行山形事務所

（ ）内は前回調査比修正率、%

（図表3）建築着工床面積（民間非居住用） 前年比、%

	2022年 6月	9月	12月	2023年 1月	2月	3月
山形県	528.8	▲60.3	▲44.8	▲68.2	63.7	▲50.0

（資料）国土交通省

(3) 個人消費 ・・・ 緩やかに回復している

3月の百貨店・スーパー販売（全店ベース）は、7か月連続で前年を上回った。コンビニエンスストアは、13か月連続で前年を上回ったほか、ドラッグストアは、24か月連続で前年を上回った。ホームセンターも、前年を上回った。

(図表4) 百貨店・スーパー販売

前年比、%

山形県	2022年 7~9月	10~12月	2023年 1~3月	2023年 1月	2月	3月
全店	▲1.0	2.2	2.0	1.4	2.1	2.5
既存店	▲0.1	1.7	0.0	0.4	0.2	▲0.5

〈資料〉経済産業省

4月の乗用車新車規登録・届出台数は、8か月連続で前年を上回った。

(図表5) 乗用車新車規登録・届出台数

前年比、%

山形県	2022年 6月	9月	12月	2023年 2月	3月	4月
乗用車 合計	▲4.0	33.1	0.7	18.4	22.1	12.9
普通車	▲5.6	24.8	▲3.5	33.5	40.7	32.3
小型車	▲12.7	35.0	▲17.0	10.2	4.0	6.8
軽四輪	4.8	38.8	18.5	12.5	22.0	1.7

〈資料〉東北運輸局

この間、サービス消費は、飲食・宿泊を中心に緩やかに回復している。

(4) 住宅投資 ・・・ 下げ止まりつつある

3月の新設住宅着工戸数は、持家、分譲、貸家のいずれも増加したため、3か月振りに前年を上回った。

(図表6) 新設住宅着工戸数

前年比、%

	2022年 6月	9月	12月	2023年 1月	2月	3月
山形県	▲24.2	▲26.1	6.6	▲1.9	▲25.5	68.0
持家	▲16.3	▲15.0	▲14.9	▲1.4	11.2	29.1
貸家	▲23.3	▲39.8	8.5	▲3.8	▲54.9	223.8
分譲	▲47.1	▲40.0	69.6	0.0	▲16.7	133.3

〈資料〉国土交通省

3. 生産・・・持ち直しの動きが足踏みしている

2月の鉱工業生産指数（季節調整済）は、前月を下回った。業種別には、輸送機械、食料品など9業種で上昇したものの、はん用・生産用・業務用機械、情報通信機械など12業種で低下した。在庫指数（季節調整済）は、前月を上回った。

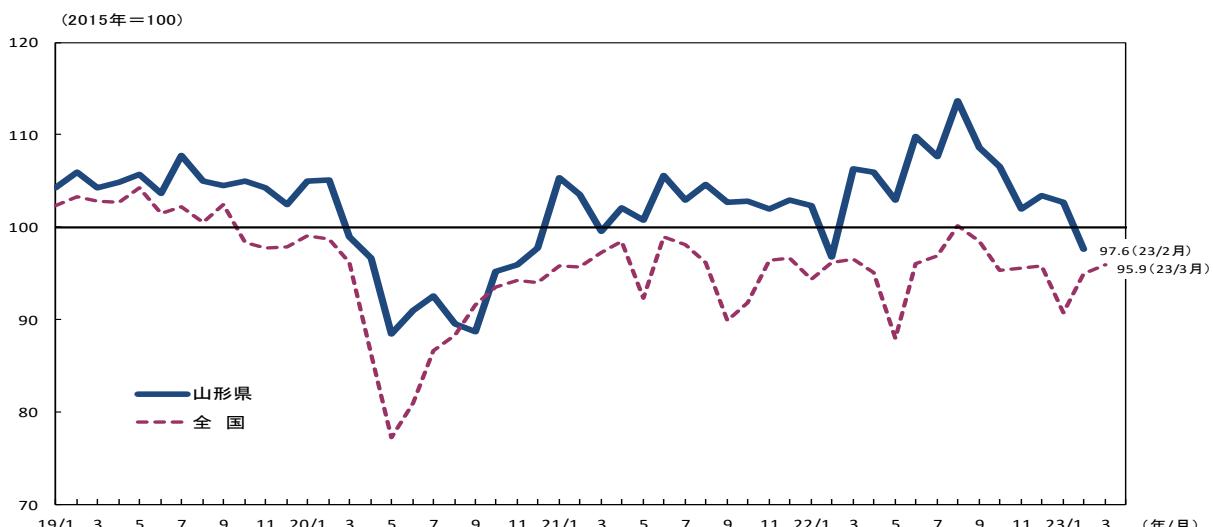
(図表7) 鉱工業指数

2015年基準

山形県		2022年3月	6月	9月	2022年12月	2023年1月	2月
生産	季節調整済前月比%	9.8	6.7	▲4.5	1.4	▲0.7	p ▲5.0
	原指数前年比%	5.3	4.0	5.8	▲1.1	0.5	p 2.4
在庫	季節調整済前月比%	▲1.1	10.6	5.0	▲3.3	▲4.1	p 3.8
	原指数前年比%	31.2	20.6	31.7	19.6	15.7	p 8.1

〈資料〉山形県

(図表8) 鉱工業生産指数（季節調整済）の推移



〈資料〉経済産業省、山形県

4. 雇用・所得環境・・・持ち直している

3月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.46倍となった。業種別の新規求人数をみると、卸・小売、宿泊・飲食サービスなどで増加したものの、医療・福祉、建設などで減少した。雇用保険受給者は、前年を上回った。

(図表9) 雇用関係指標（その1）

倍、%、<>内は前年比

山形県	2022年7~9月	10~12月	2023年1~3月	2023年1月	2月	3月
有効求人倍率	1.61	1.67	1.46	1.61	1.52	1.46
完全失業率	2.1	1.9	n. a.	—	—	—
雇用保険受給者	<▲5.4>	<▲6.7>	<1.7>	<▲4.8>	<▲3.2>	<1.7>

〈資料〉厚生労働省、総務省、山形労働局

(注)有効求人倍率、雇用保険受給者の四半期データは、四半期末の水準。

2月の常用雇用指数は前年を上回った。所定外労働時間は前年を下回った。

(図表 10) 雇用関係指標（その 2） 2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2022年 3月	6月	9月	2022年 12月	2023年 1月	2月
常用雇用指数	0.8	1.8	2.3	1.7	2.2	1.7
所定外労働時間	12.1	13.3	11.4	0.5	0.0	▲2.0

〈資料〉山形県

2月の現金給与総額（名目賃金指数）、きまつて支給する給与は、前年を上回った。

(図表 11) 所得関係指標 2020 年基準、事業所規模 5 人以上、前年比、%

山形県	2022年 3月	6月	9月	2022年 12月	2023年 1月	2月
現金給与総額 (名目賃金指数)	4.2	5.2	3.4	6.4	2.6	0.9
きまつて支給 する給与	3.6	3.8	4.1	3.3	3.1	2.1

〈資料〉山形県

5. 企業倒産 ・・・ 前年を下回った

4月の企業倒産（負債額 10 百万円以上）は 2 件、負債総額は 4.6 億円となった（前年同月は 4 件、7.1 億円）。

(図表 12) 企業倒産

件、億円

山形県	2022年 6月	9月	12月	2023年 2月	3月	4月
件数	2	2	4	4	3	2
負債総額	1.6	2.4	1.9	95.6	0.8	4.6

〈資料〉(株)東京商工リサーチ

6. 物価 ・・・ 前年を上回った

3月の消費者物価指数（山形市、生鮮食品を除く総合）は、食料品などの価格上昇から前年を上回った。

(図表 13) 消費者物価指数

2020 年基準、前年比、%

山形市	2022年 6月	9月	12月	2023年 1月	2月	3月
総合	2.7	3.2	3.9	4.1	3.6	3.3
生鮮食品を除く総合	2.4	3.1	3.8	3.9	3.4	3.2

〈資料〉山形県

7. 金融

3月の県内預金(銀行+信用金庫)は、前年を上回った。県内貸出(銀行+信用金庫)も、前年を上回った。この間、2月の貸出金利は低下した。

(図表 14) 預金、貸出金

%

山形県	2022年 6月	9月	12月	2023年 1月	2月	3月
実質預金+CD (末残前年比)	2.5	1.8	0.8	1.0	1.5	1.3
貸出金 (末残前年比)	1.1	1.3	2.0	2.6	3.0	2.1

〈資料〉日本銀行山形事務所

- (注) ・国内銀行（ゆうちょ銀行を除く）、信用金庫の県内全店舗を集計。
- ・銀行勘定（国内銀行についてはオフショア勘定を除く）を集計。
- ・実質預金とは、表面預金から未決済の小切手・手形を引いたもの。
- ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。
- ・合併・新規出店、撤退等による残高調整は行っていない。

(図表 15) 貸出約定平均金利

%ポイント

山形県	2022年 4~6月	7~9月	10~12月	2022年 12月	2023年 1月	2月
貸出約定平均金利 (総合、ストックベース、月・期中変化幅)	▲0.014	▲0.022	▲0.008	▲0.005	0.009	▲0.007

2月末水準
0.881%

〈資料〉日本銀行山形事務所

- (注) 山形県内に本店を置く地銀・地銀Ⅱの貸出金利（銀行勘定の円貸出のうち、金融機関向け貸出を除いたもの）を貸出金残高（同）で加重平均したもの。

以 上

(内容に関するお問い合わせ先)
日本銀行山形事務所
TEL : 023-622-4004